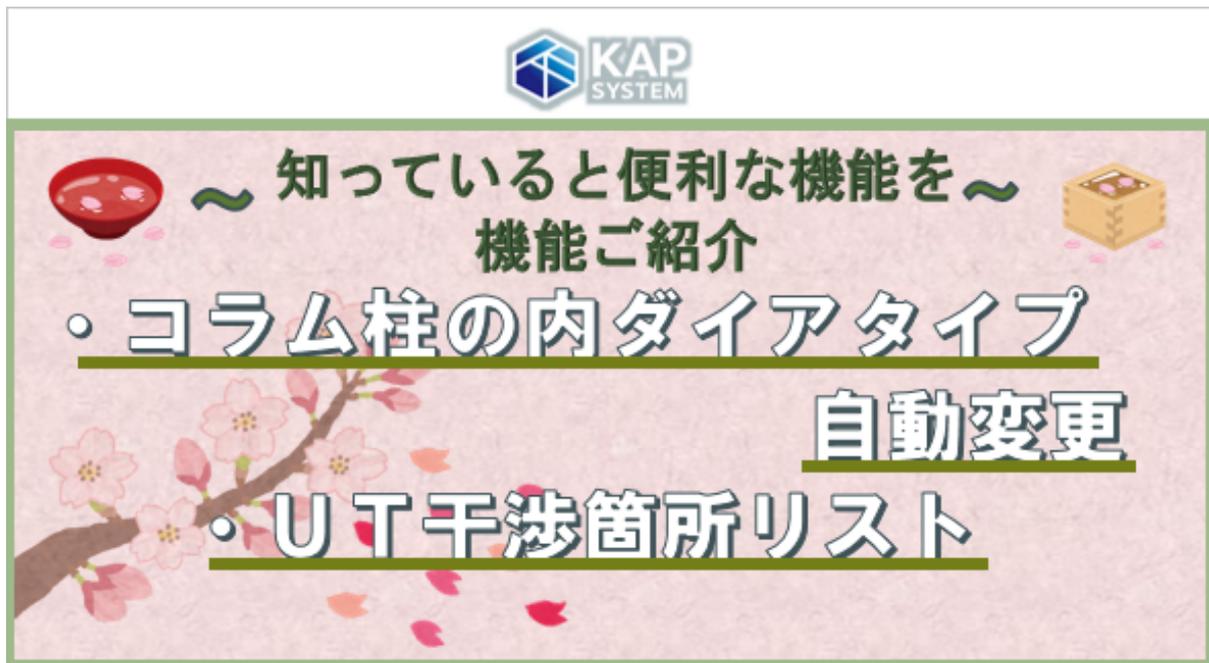

25.4月【知っているると便利な機能ご紹介】コラム柱の内ダイヤタイプ自動変更+UT干涉箇所リスト



こんにちは！日本ファブテック KAPシステム部です 😊

4月に入りやっと春らしい気温になってまいりました。むしろ暑いぐらいです
・・・

そんな中 🌻 卒業や異動など終え、新生活を迎える方が多いのではないのでしょうか？？

始めは慣れないとは思いますが、生活していくにつれ部屋も自分自身も馴染んでくる為、住めば都となるかと思えます ✨

更にならんとした部屋が自分の好きな家具で埋まっていくという変化の楽しみもある為、少し辛抱してみましよう 🍷

また職場など環境の変化がない方も初心に戻り私生活や食生活等の「生活」の部分を見直し整えておきましょう。大きな病気やケガを防げたり、作業効率が上がったりと良いことがたくさんあります。

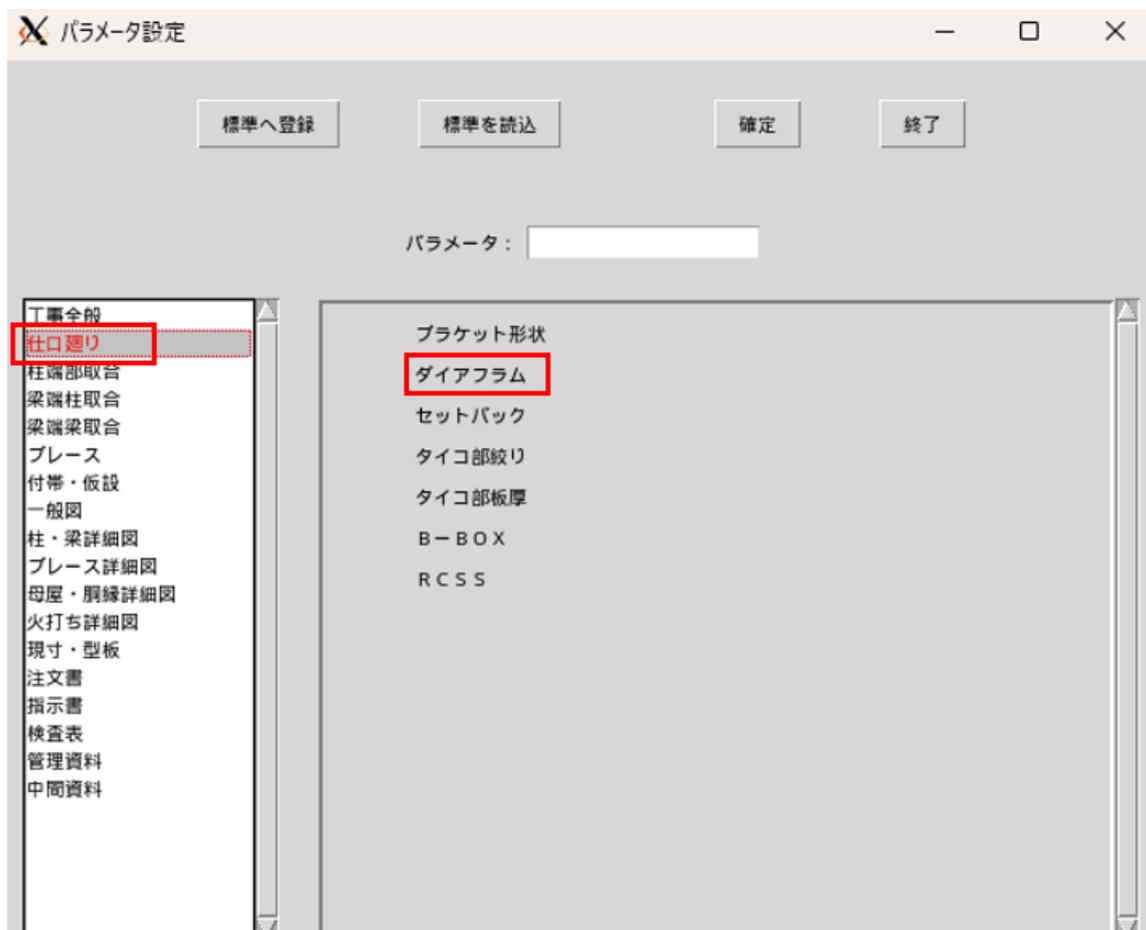
身の回りをしっかり整え、皆さんで良い新年度のスタートを切れるようにしましょう 🧠💡

さて、本日はKAPの知っていると便利な機能を2つご紹介します。

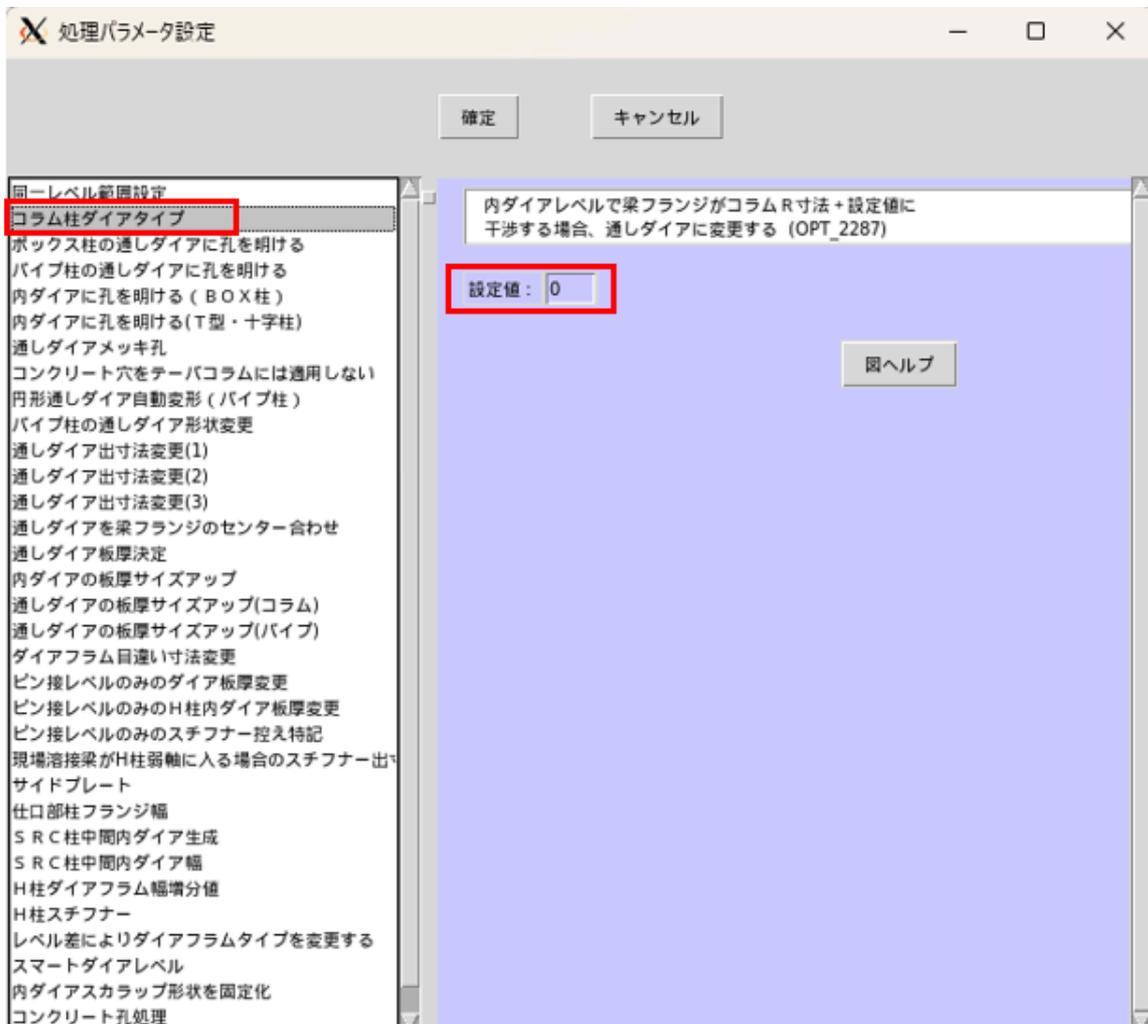
【知っていると便利な機能①】 コラム柱の内ダイアタイプ自動変更

内ダイアレベルの梁フランジがコラムのR+設定値にかかる場合は、内ダイアを通しダイアに自動変更します。

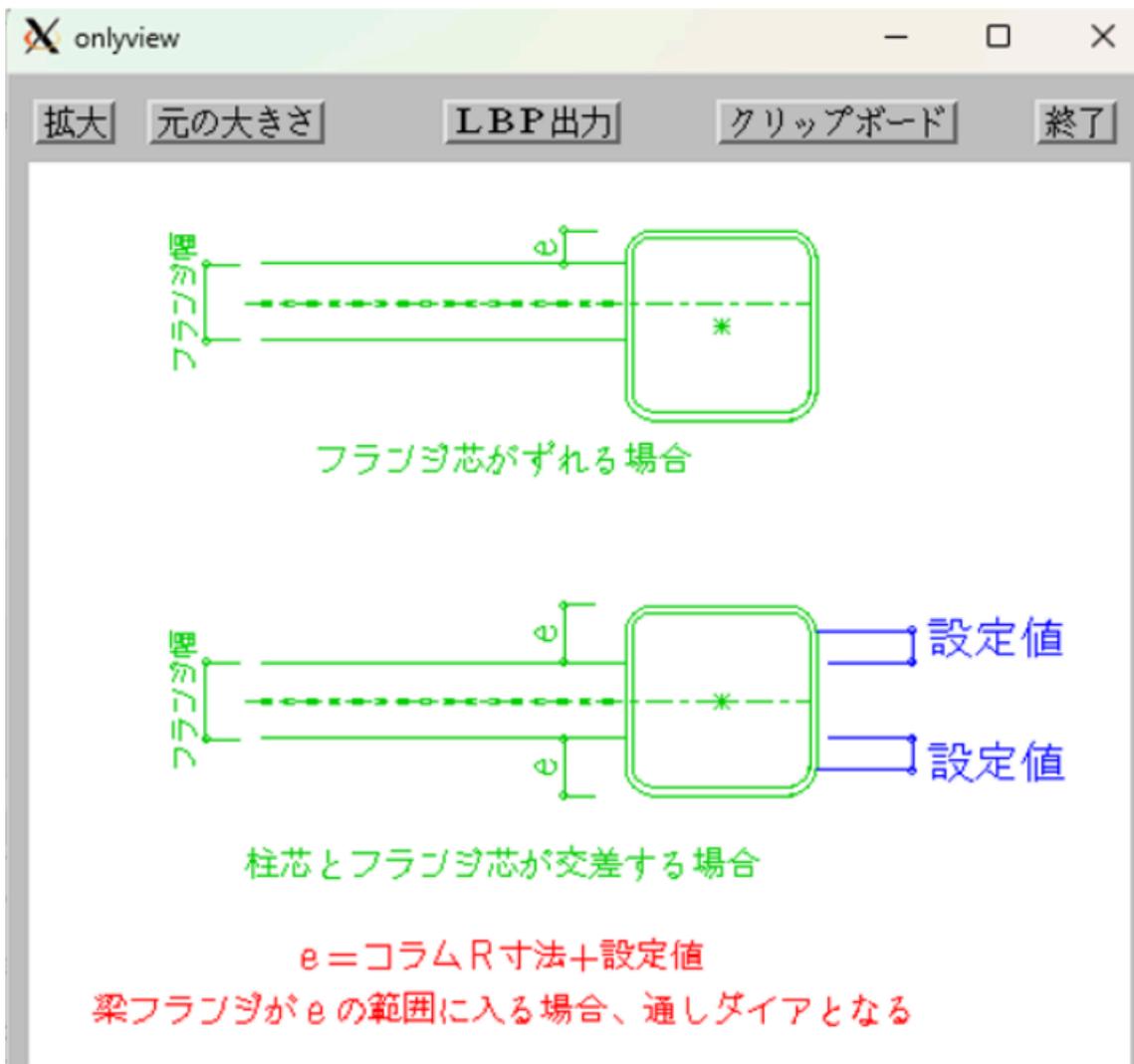
パラメータ ➡ 仕口廻り ➡ ダイアフラムをダブルクリック



コラム柱ダイアタイプ ➡ 設定値を入力



設定値について ※下記画像参照



設定値の入力し、パラメータ設定を確定することで該当箇所のダイヤフラムタイプを自動変更します。

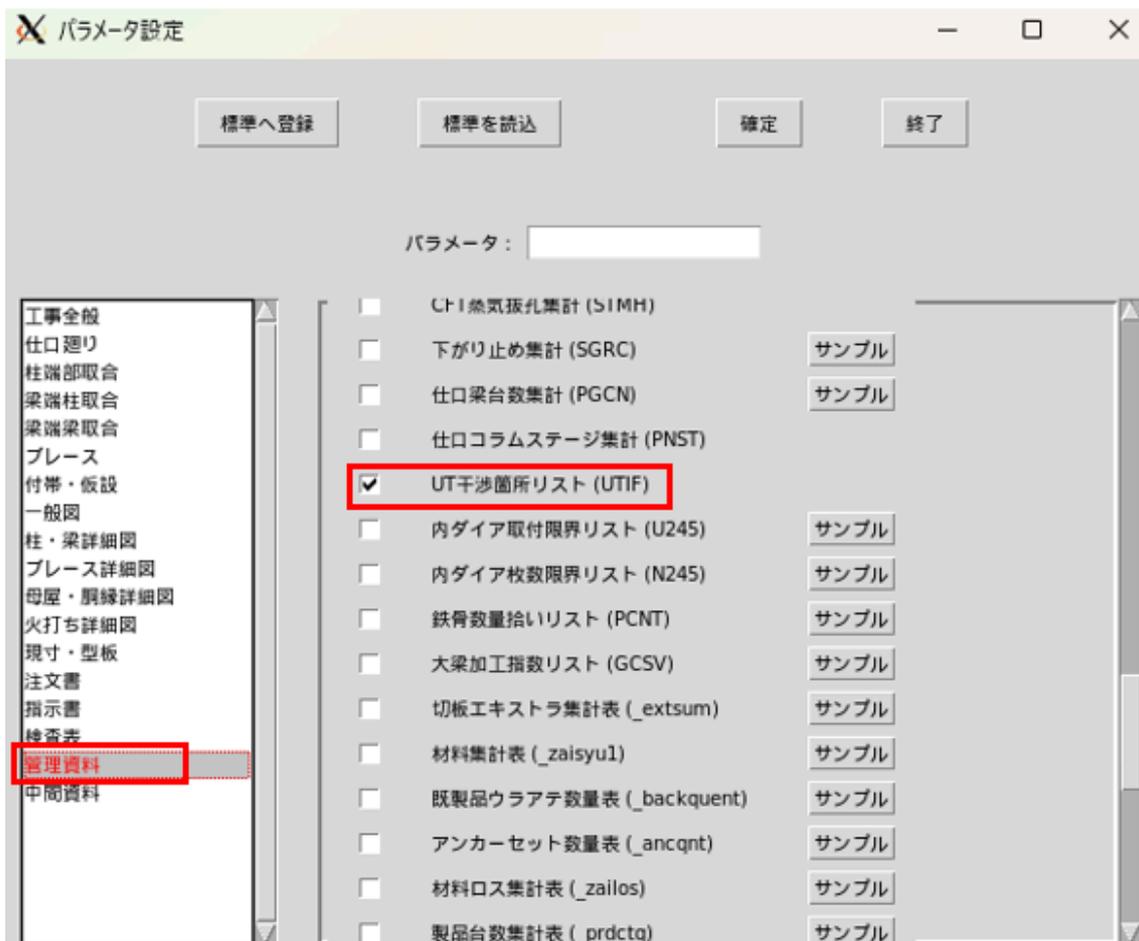
【知っている便利な機能②】 UT干渉箇所リスト

ダイヤタイプ自動変更等で短管が予期せず短くなってしまう可能性を考慮して、モデルから短管長さの限界値を設定し、長さの達していない箇所をCSVにて出力します。

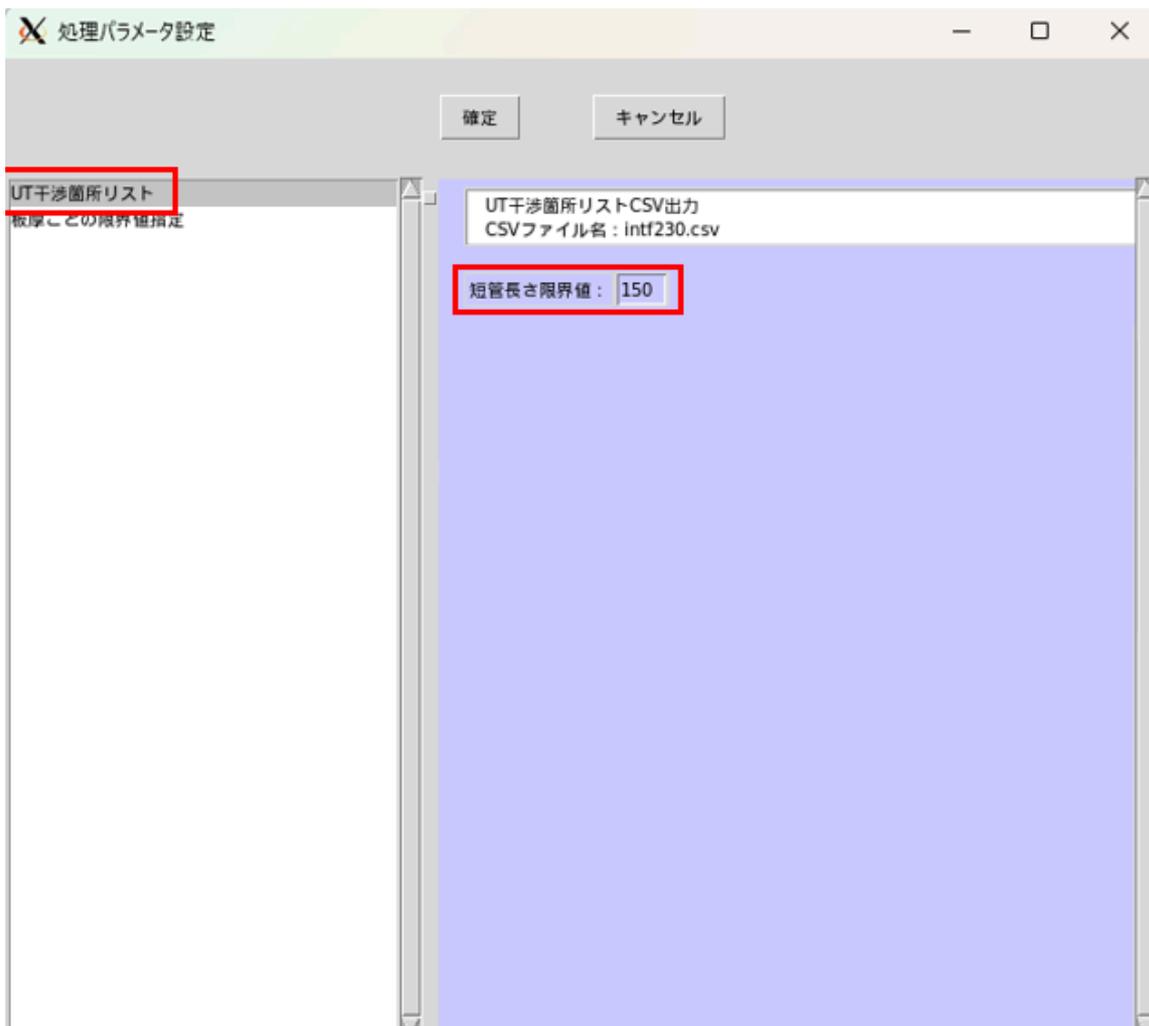
短管の板厚毎に限界値設定も可能です。

UT干渉箇所リストはエクスプローラーのフォルダに【intf230】というExcelファイルが出来上がります。

・パラメータ ➡管理資料 ➡UT干渉箇所リストにチェックを付けてダブルクリック



- UT干渉箇所リスト ➡短管長さ限界値を入力



板厚ごとの限界値指定をクリックする

無指定のチェックを外し、短管の板厚ごとに長さ限界値を設定できます。

UT干渉板厚ごとの限界値

UT干渉板厚ごとの限界値

指定なければ上記短管長さ限界値が採用される

無指定

9mm:	<input type="text"/>	45mm:	<input type="text"/>	95mm:	<input type="text"/>
12mm:	<input type="text"/>	50mm:	<input type="text"/>	100mm:	<input type="text"/>
16mm:	<input type="text"/>	55mm:	<input type="text"/>		
19mm:	<input type="text"/>	60mm:	<input type="text"/>		
22mm:	<input type="text"/>	65mm:	<input type="text"/>		
25mm:	<input type="text"/>	70mm:	<input type="text"/>		
28mm:	<input type="text"/>	75mm:	<input type="text"/>		
32mm:	<input type="text"/>	80mm:	<input type="text"/>		
36mm:	<input type="text"/>	85mm:	<input type="text"/>		
40mm:	<input type="text"/>	90mm:	<input type="text"/>		

管理資料を出力し、KAPツール → その他 → エクスプローラーの中に「intf 230」が作成されます。

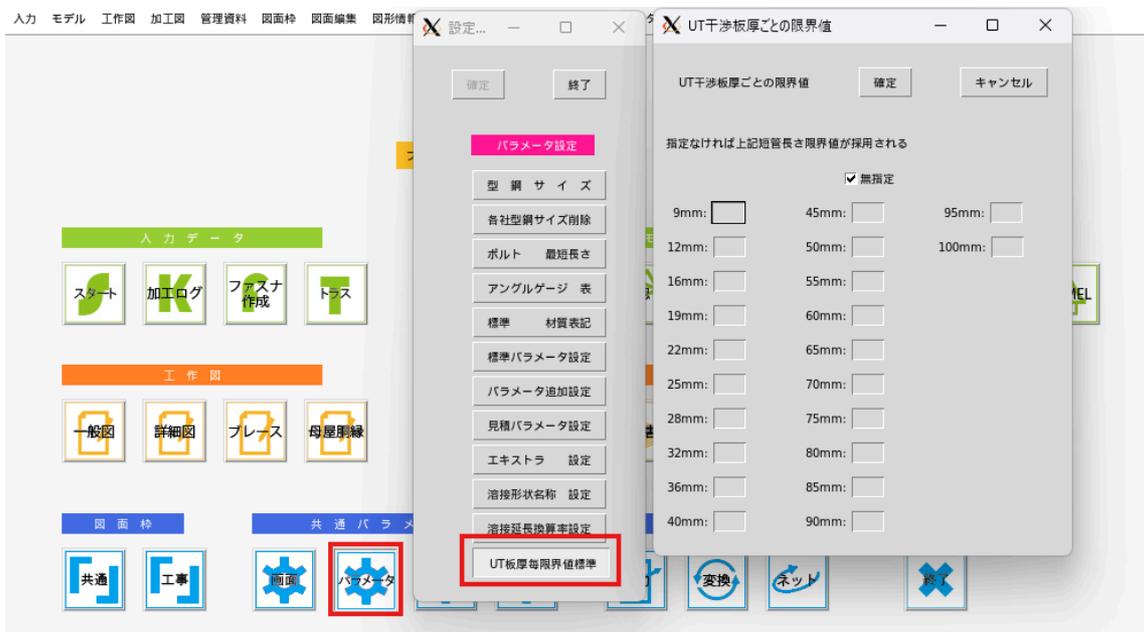
	A	B	C	D	E	F
1	階	X通	Y通	符号	サイズ(材質)	長さ
2	RFL		1 A	C1	□-400x400x22x22(BCP235)	108
3	RFL		1 A	C1	□-400x400x22x22(BCP235)	108
4	RFL		2 B	C1	□-400x400x22x22(BCP235)	108
5	RFL		2 B	C1	□-400x400x22x22(BCP235)	108
6						

◎関連する新機能ご紹介

UT干涉箇所がPCごとに設定ができるようになりました！

添付画像の通り設定していただくことで、新規工事においては工事ごとにパラメータを設定する手間を省くことができます。

※但し新規で作成した工事のみ適応



詳しくはHPにて↓

[UT干涉箇所標準設定](#)

